

「バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)について」のお知らせ(第2報)

2020年7月21日に当院入院患者様のVRE感染症が確認され、東部保健所に届け出るとともに、対策を強化しております。

VREとは、ヒトの腸内にいる一般的な腸球菌のうち本来効くはずのバンコマイシンという抗生物質が効かなくなった細菌です(バンコマイシン以外の抗生物質で効く薬はあります)。健康な人が感染しても病気を起こすことはありません。しかし、免疫不全や体力の低下している患者様が感染すると病気を起こすことがあります。VREは、VREを持っているヒトの便から排出されほかのヒトに伝播していくため、手洗いが最も有効な予防策となります。

2020年9月25日該当病棟におけるVRE感染便培養検査を実施し終了しております。結果、新たにVREが検出された患者様は0名でした。この間、新たなVREによる感染症(VREが原因となる病気)は発生していません。

これまで以上に、環境清掃や標準感染予防策及び接触感染予防策を徹底するとともに、感染対策に努めてまいります。感染対策の実施にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年10月5日

院長 齋藤 友治